

1

発想を引き出す
ノート記法



アイデアは分岐する。
発想を受け止めるには、良い
書き方（ノート記法）を使う。

発想ノート法

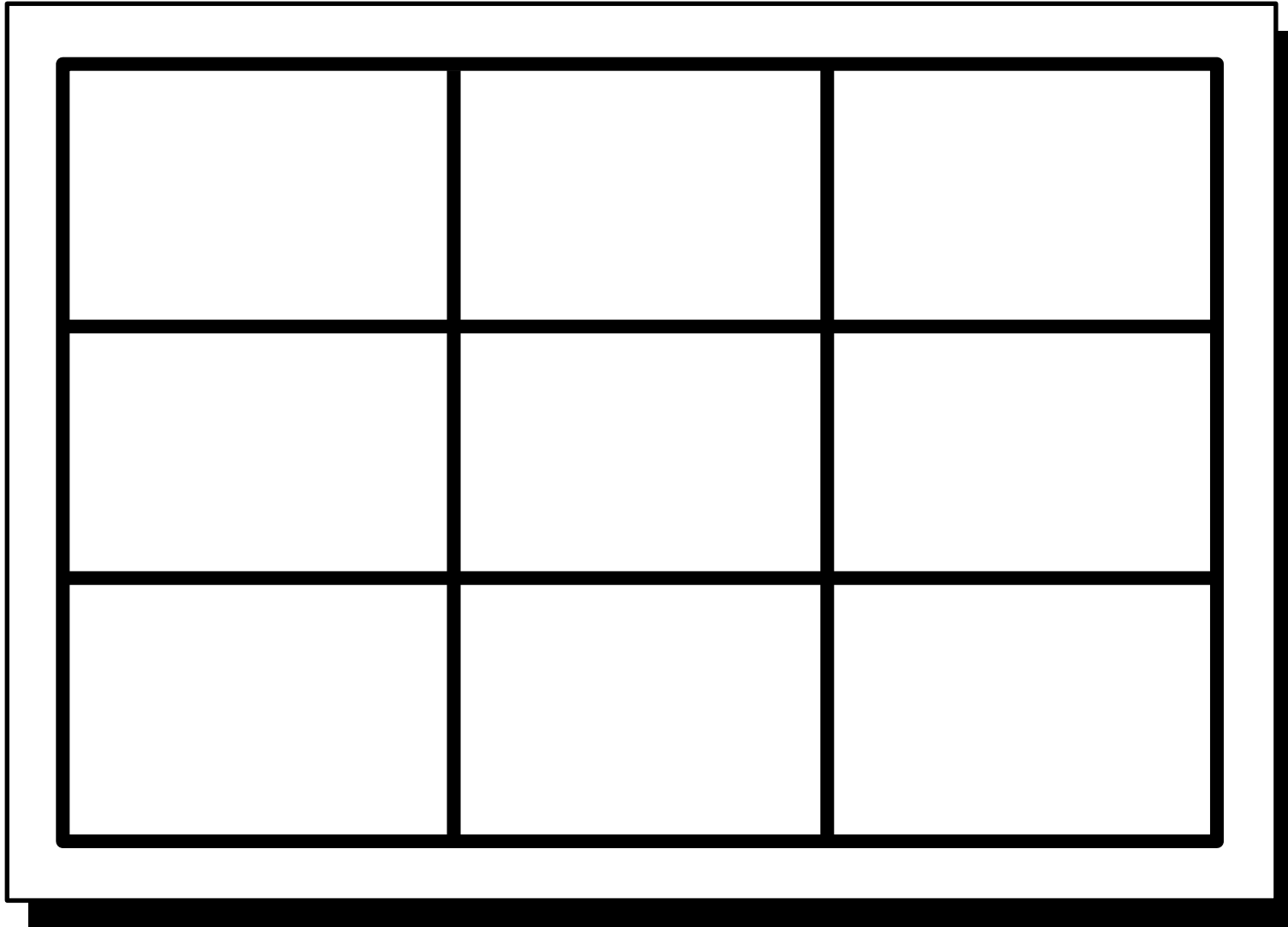
- ・ マンダラート
- ・ マインドマップ

マンダラート

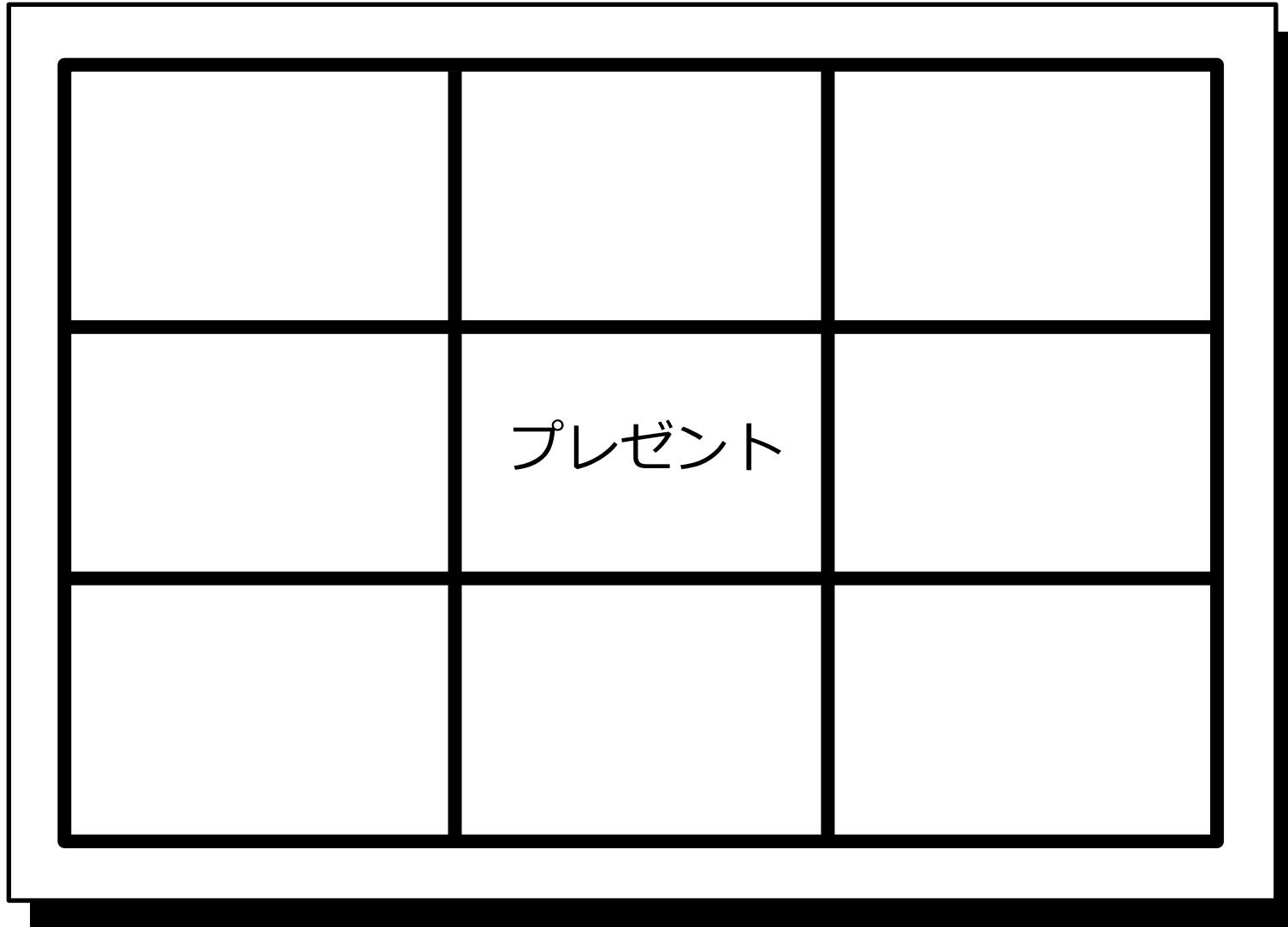
- マンダラートって？
- 描きかた
- 共同作業での使い方

アルバム	iPad	カップ
なべ	プレゼント	お皿
パン	新じゃが	クオカード

(マンダラートの例)



まず³3×3の升目を書く



中心に発想のテーマを書く

		カップ
	プレゼント	お皿
	新じゃが	クオカード

思いつくことを、書いていく

(4個ぐらいはすぐに出る)

		カップ
なべ	プレゼント	お皿
パン	新じゃが	クオカード

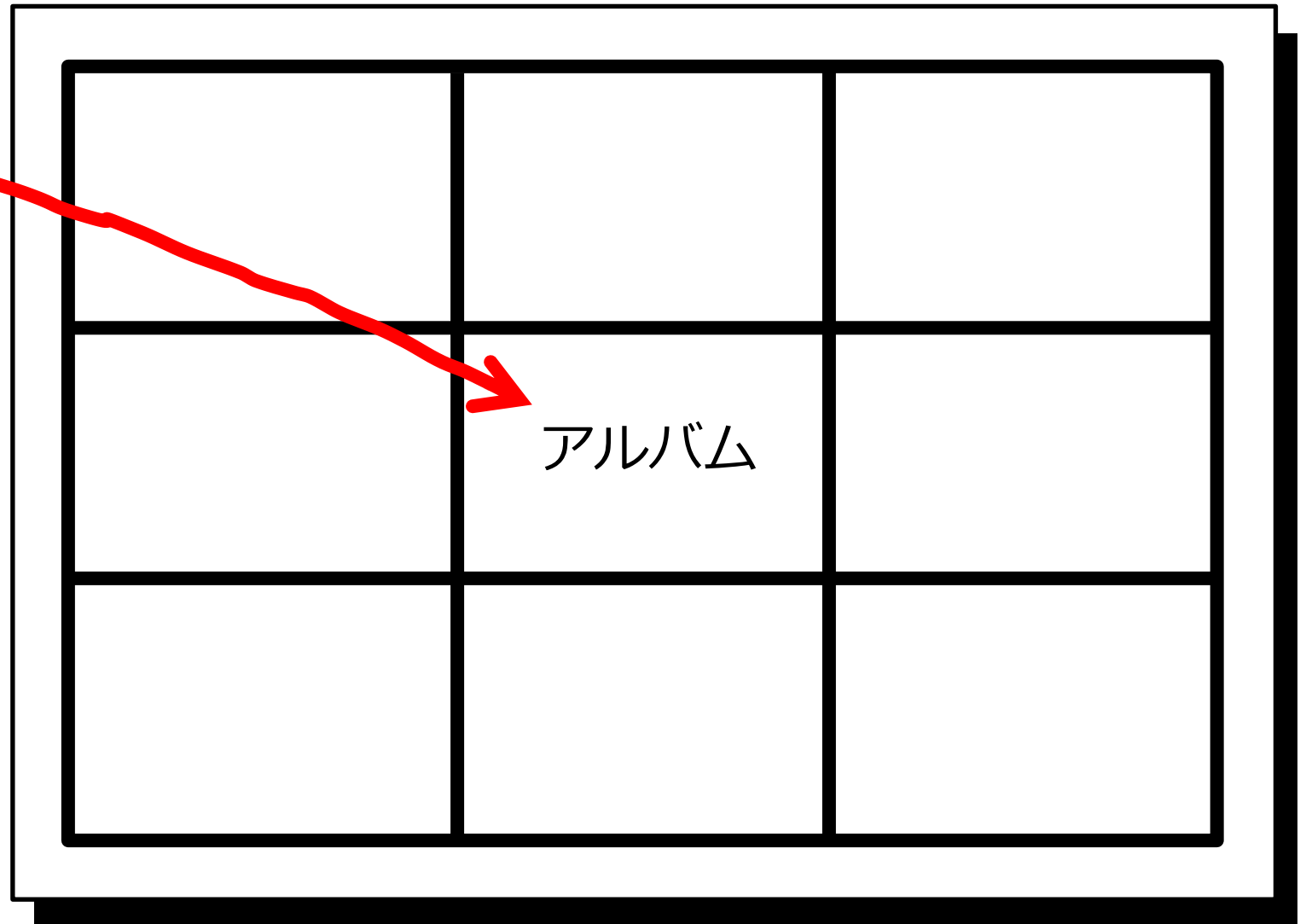
頑張って、全部埋めようとする

アルバム	iPad	カップ
なべ	プレゼント	お皿
パン	新じゃが	クオカード

力が働くので意外と書ける

(リストではそうなりにくい)
(脳はゲシュタルトを求める)

アルバム	iPad	カップ
なべ	プレゼント	お皿
パン	新じゃが	クオカード



一つ選び、新しい紙に展開する

		室内
	アルバム	周辺の 町並み
見学者を 入れて	フード マップ	周辺の四季

そこから思いつくことを書く

SDカードで	フォト フレームで	室内
一泊体験 + 自動撮影	アルバム	周辺の 町並み
見学者を 入れて	フード マップ	周辺の四季

そこから思いつくことを書く

アルバム	iPad	カップ
なべ	プレゼント	お皿
パン	新じゃが	クオカード

SDカードで	フォト フレームで	室内
一泊体験 + 自動撮影	アルバム	周辺の 町並み
見学者を 入れて	フード マップ	周辺の四季

	アルバム	

	パン	

“アルバム”を中心に2枚目の
マンダラートを書いてもOK

別の言葉からも、展開する

マンダラートは、アイデアの深堀をどこまでも、してゆけます。

企画ネタが見つかったら途中でやめてもOK。

連想することがどんどん出てきたら、枠の外にちょっと書いてOK。

(手法というのは「助走」に過ぎない)

(一人ではなく)
メンバーがいる場合は
この作業を個別にした後、
シートを回し、
☆印をつけます。
「面白い」
「広がる可能性がある」
というものに。

やってみましょう

テーマ：

新しいマグカップのアイデア

Work (8分)

- 3×3のマスを書く
- 中心にテーマを書く
- 周囲マス（8つ）に連想することを書く
- 8つから1つ選び、新しい紙で、それを中心にさらに、連想を展開

Work2

今書いたマンダラートを、
左隣の人に回す。（4~6人で組を作ります）

手元に来たら枠内に☆を付ける。
「面白い」もしくは「広がる可能性がある」
と感じるものに。

最後は自分の物にも付ける（1周で終了）

こうすると、
個人でマンダラートを行い、
グループで回し、
短い時間で、
良いアイデアの種を
見いだすことができます

マインドマップ

- マインドマップって？
- 効果的に描くコツ
- 共同作業での使い方

この技法は、
アイデアを膨らませる時に
便利です。

発想のテーマに対して
アイデア（のパーツ）が
得られます。

発想例

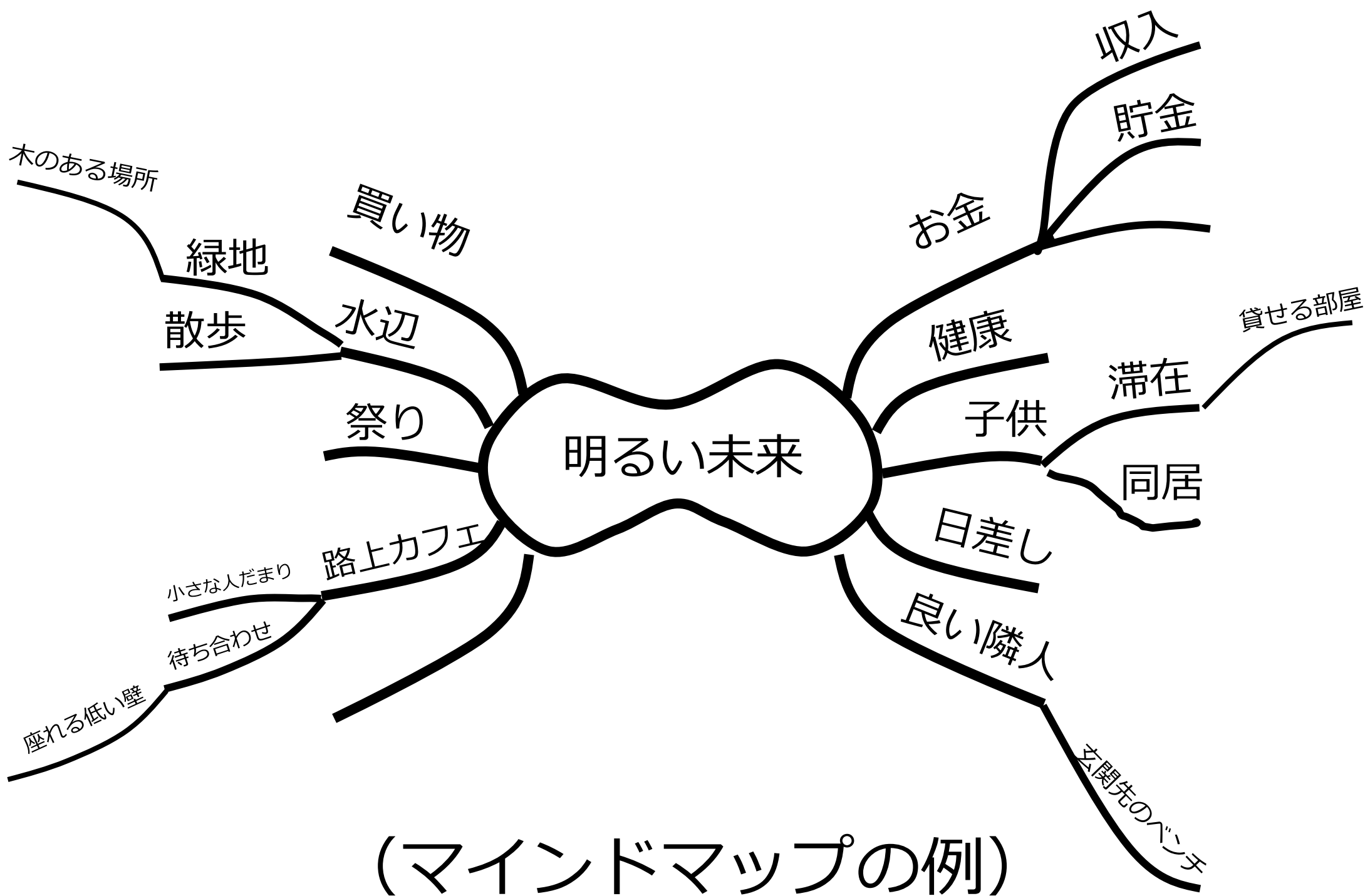
クライアントから

「明るい未来を想起させるような
テイストで案を出して」

といわれたシーン。(広いな・・・と悩む)



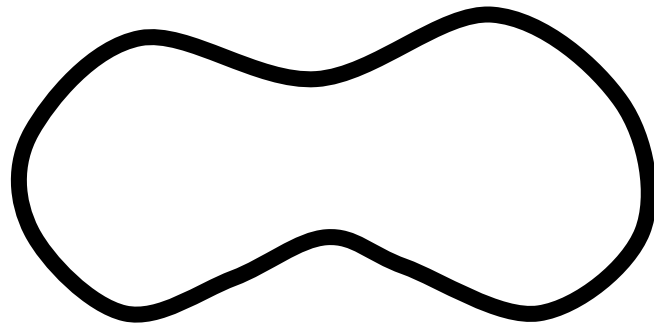
マインドマップで発想すると
こうなります。



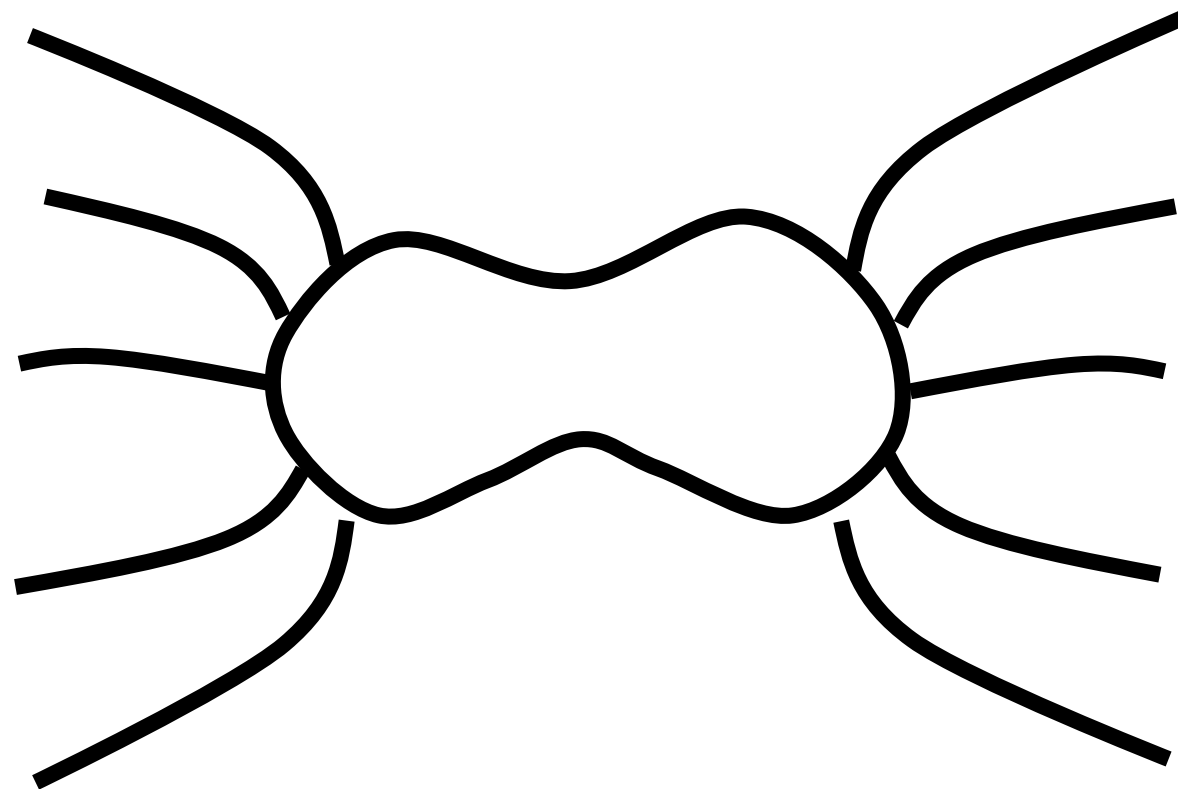
(マインドマップの例)

書き方を把握すれば、
自分の中のいい案を
掘り当てられます。

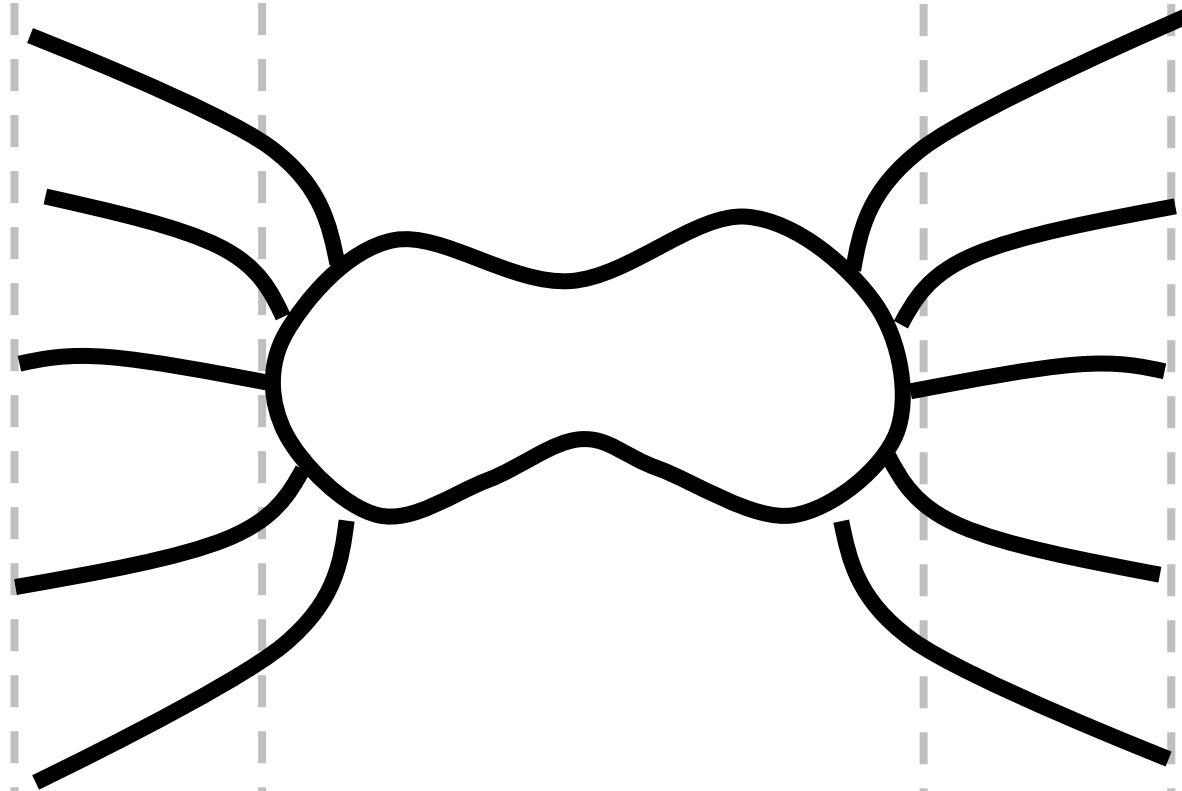
効果的な書き方



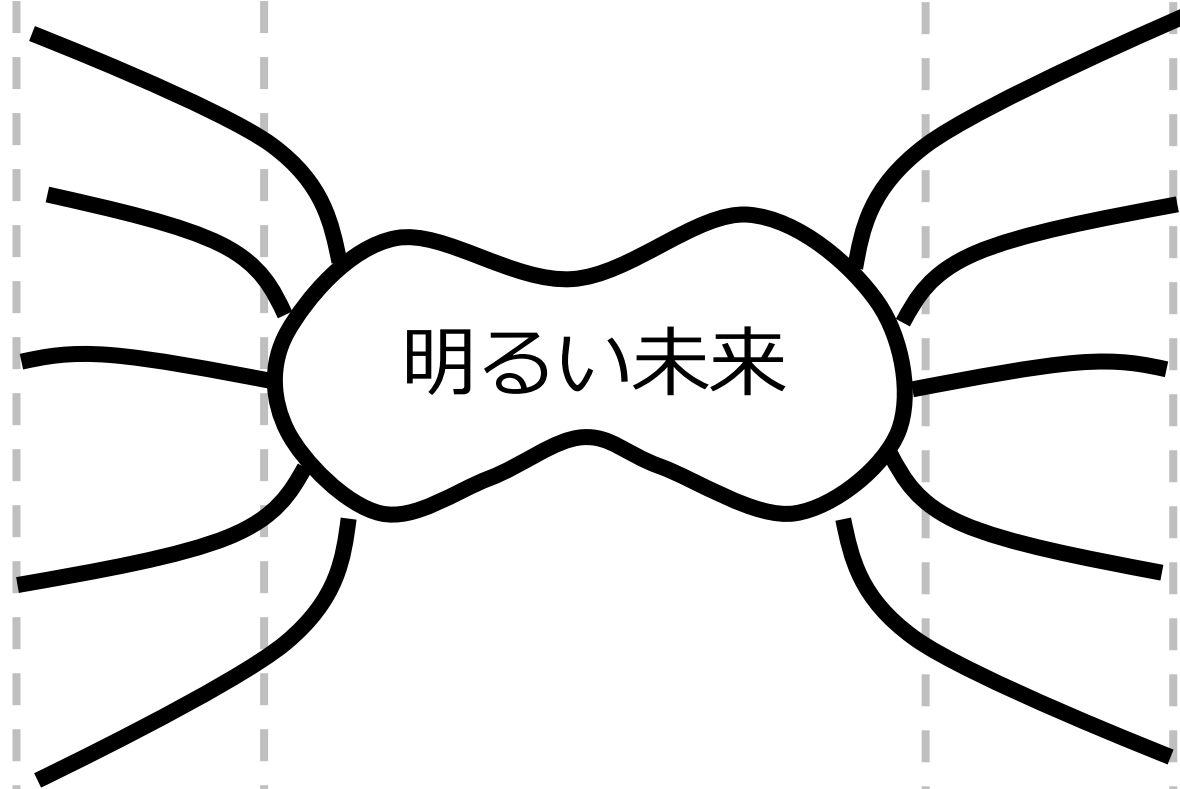
中心に丸を描く



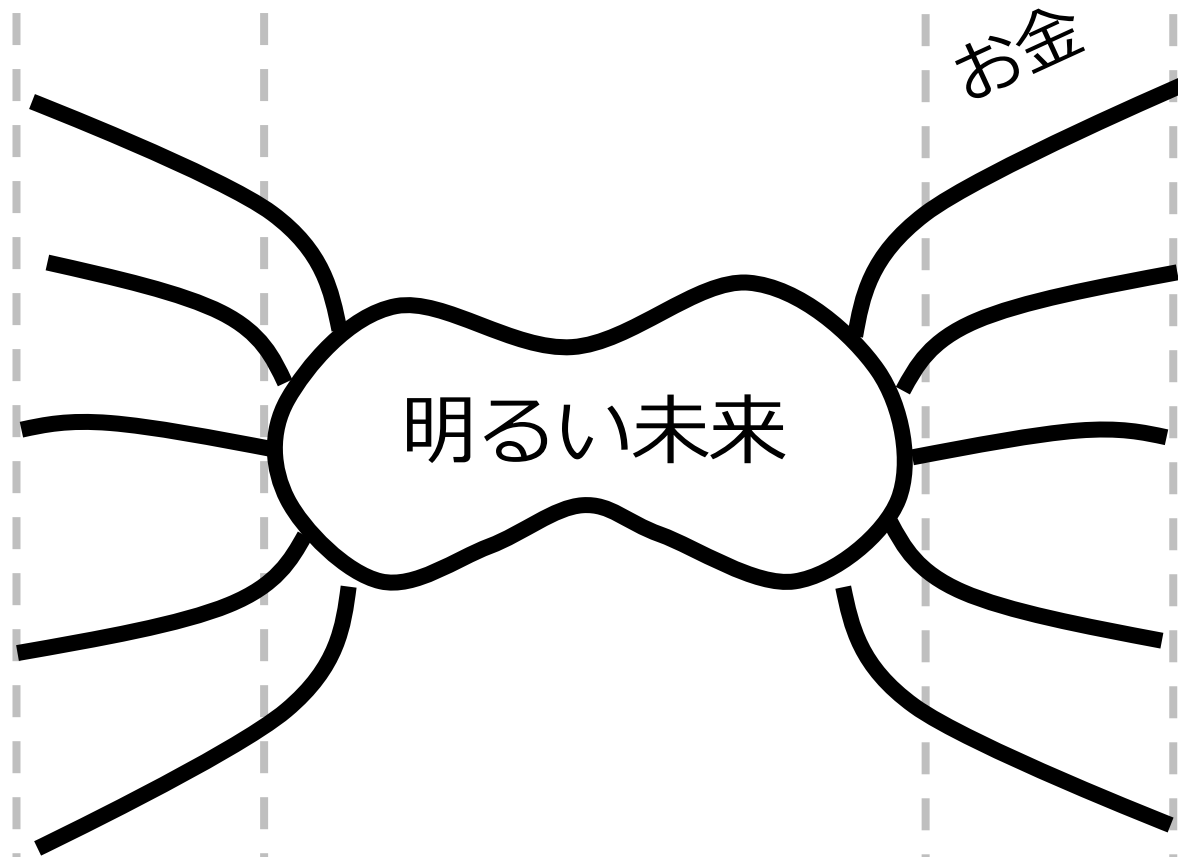
枝を10本かく



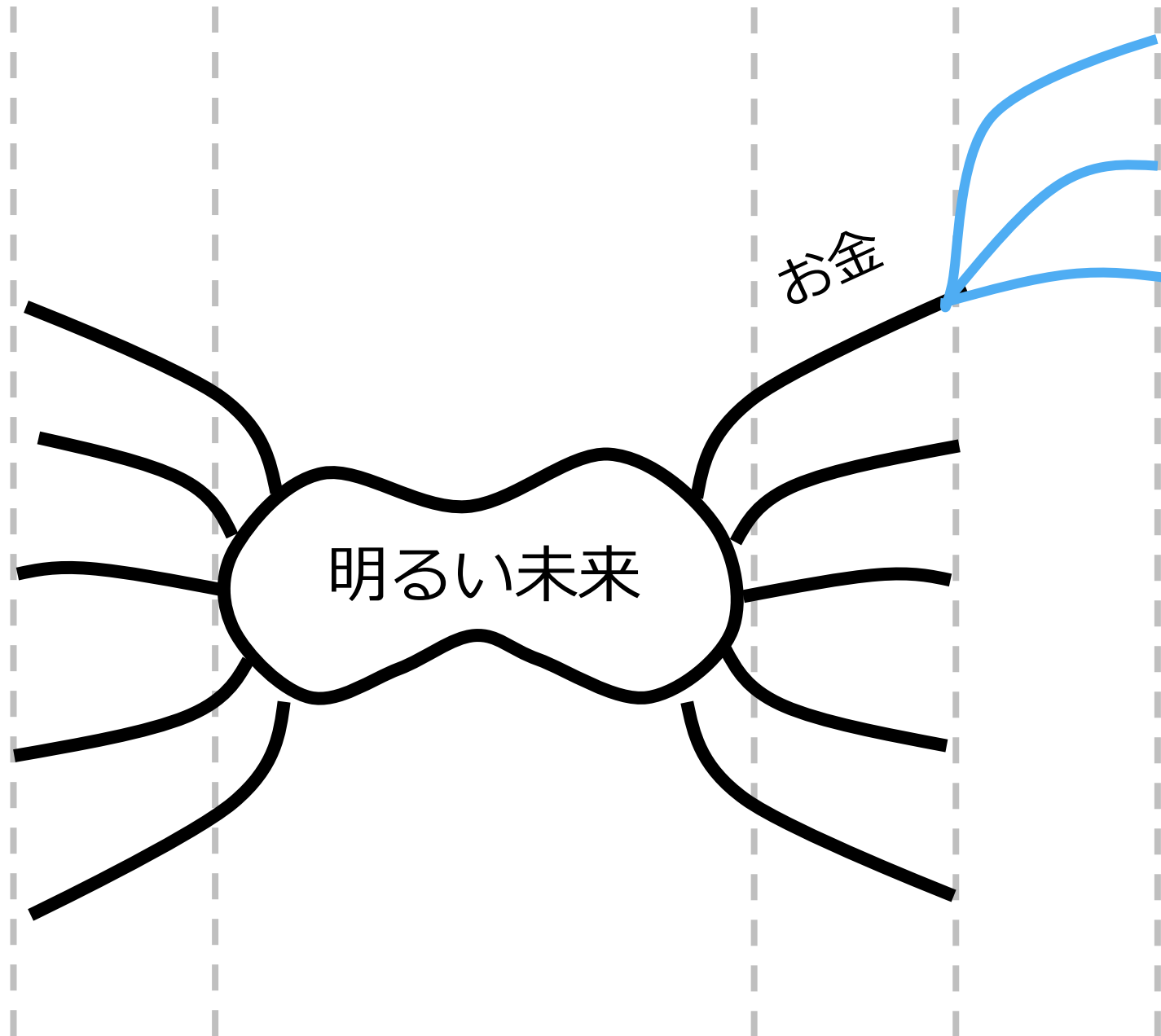
長さは、3段を目安に



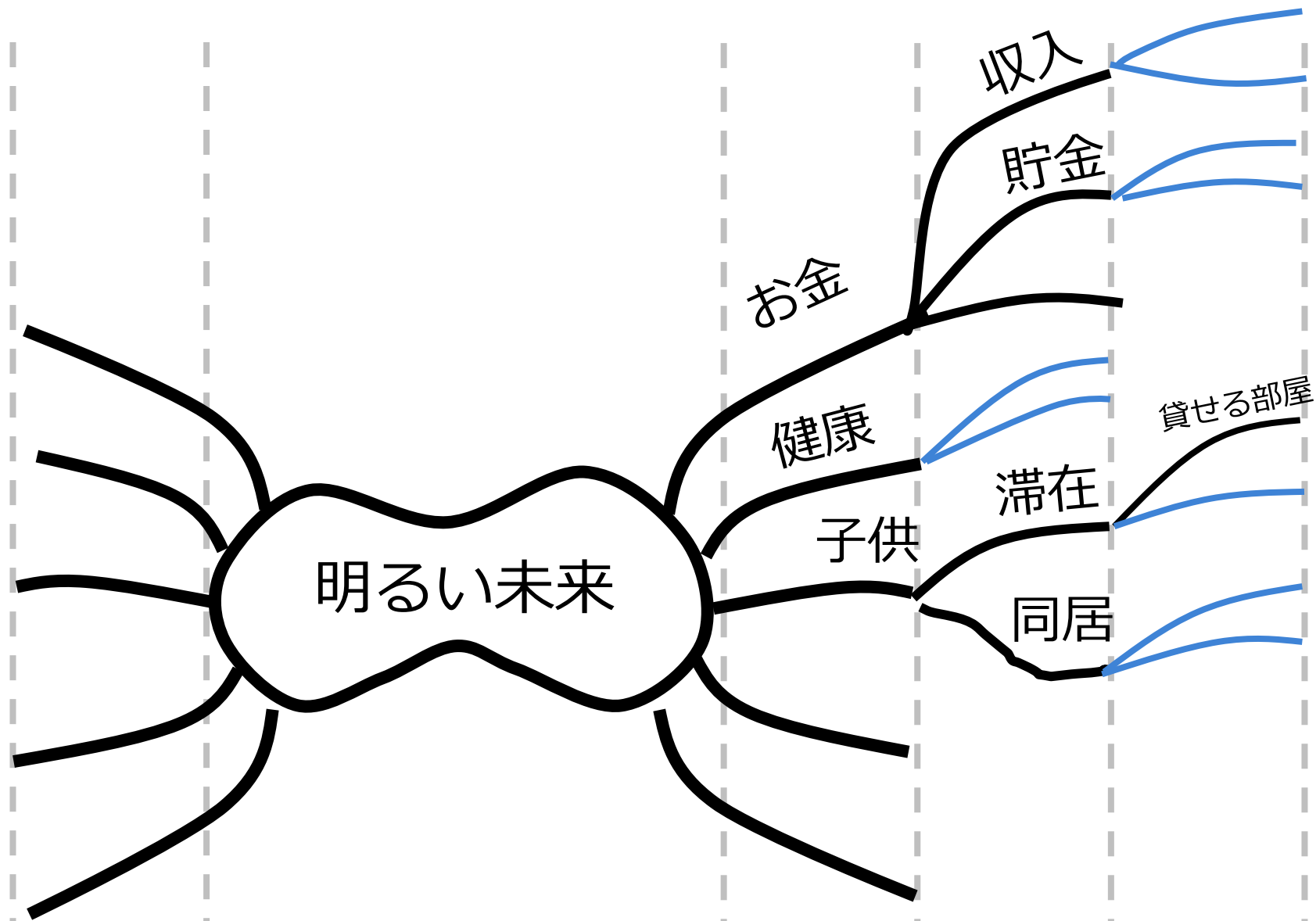
中心に発想のテーマ



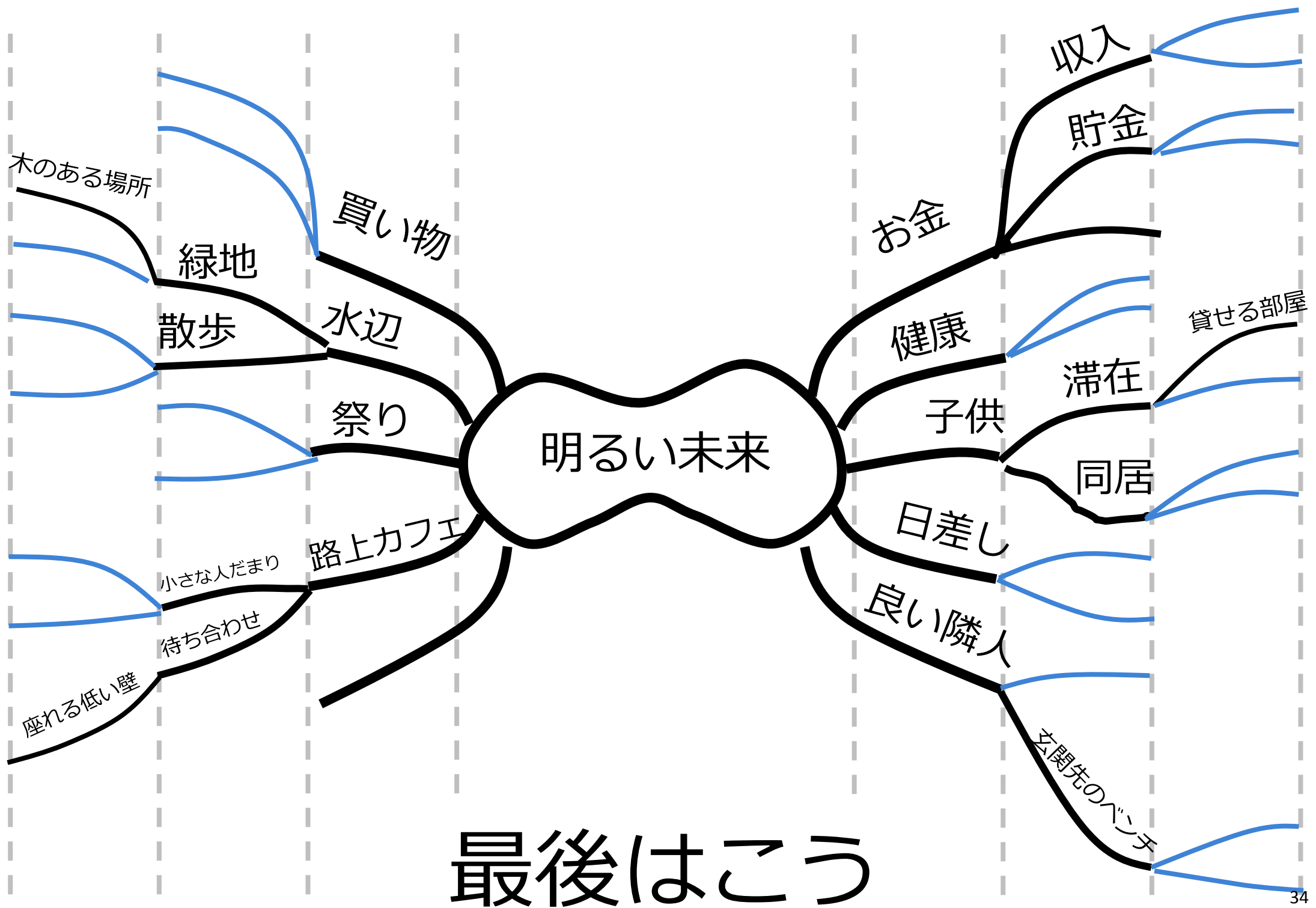
想起することを、短く書く



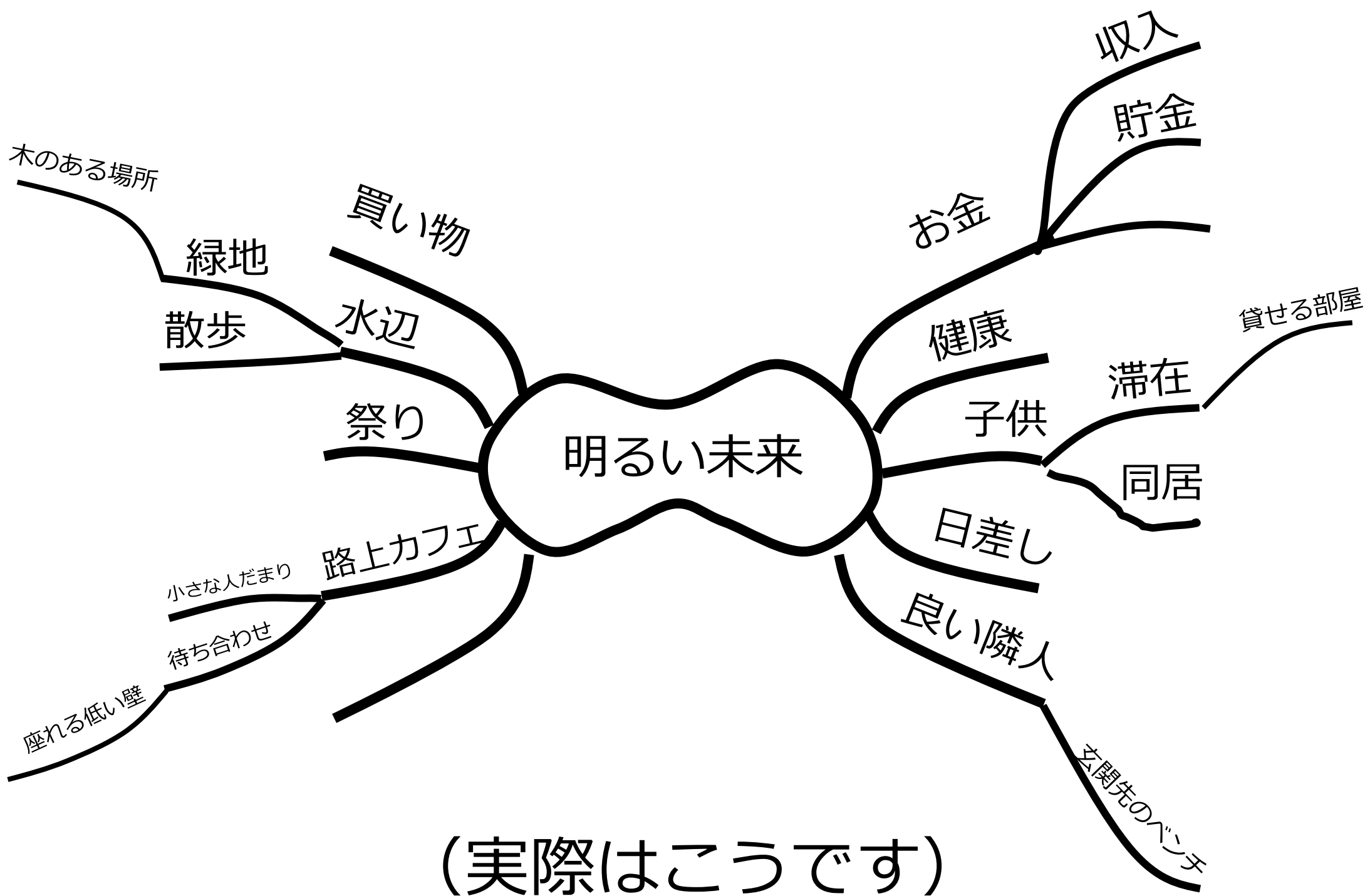
書いたら、伸ばす



空いている枝はうめる



最後はこう



(実際はこうです)

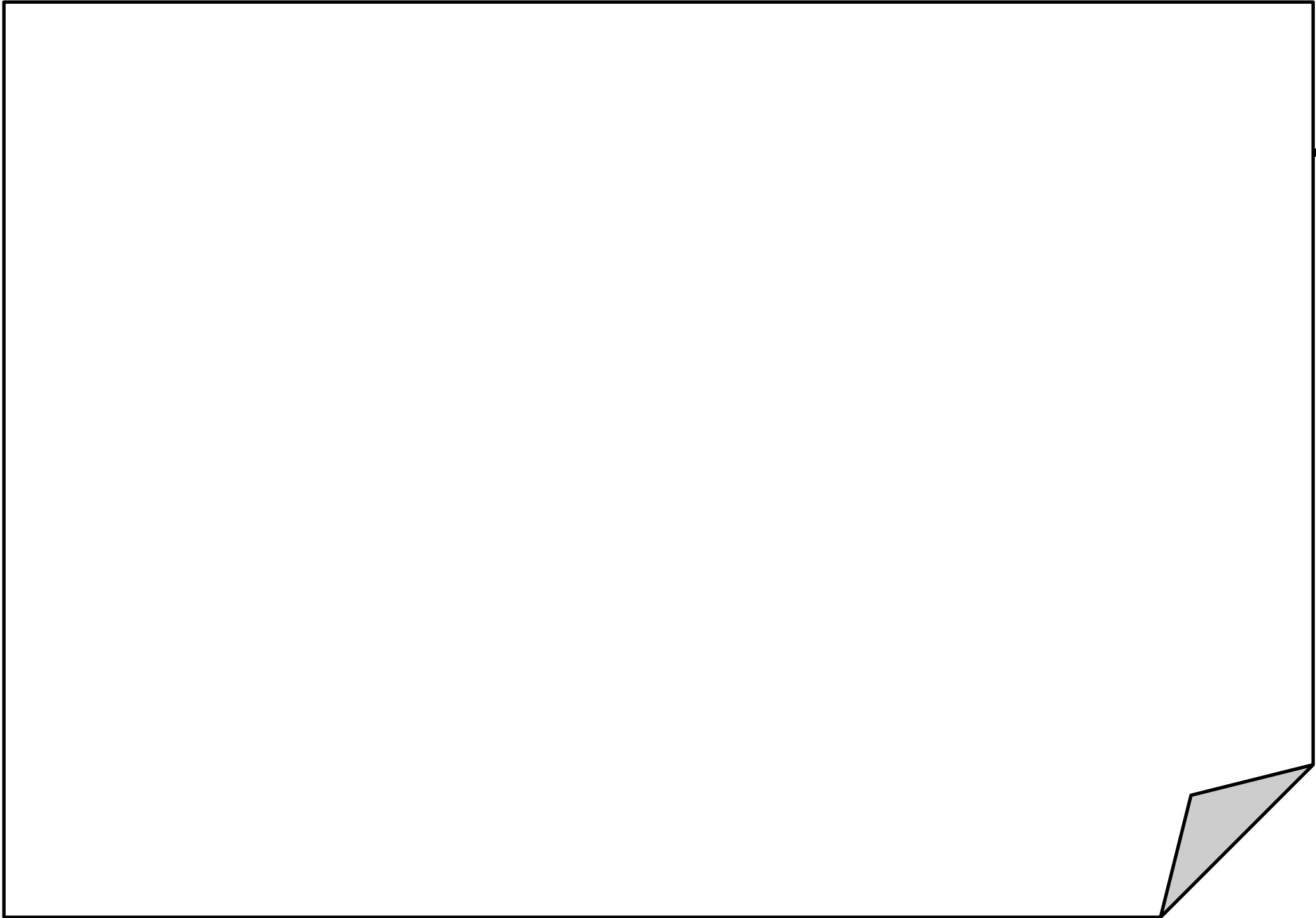
やってみましょう

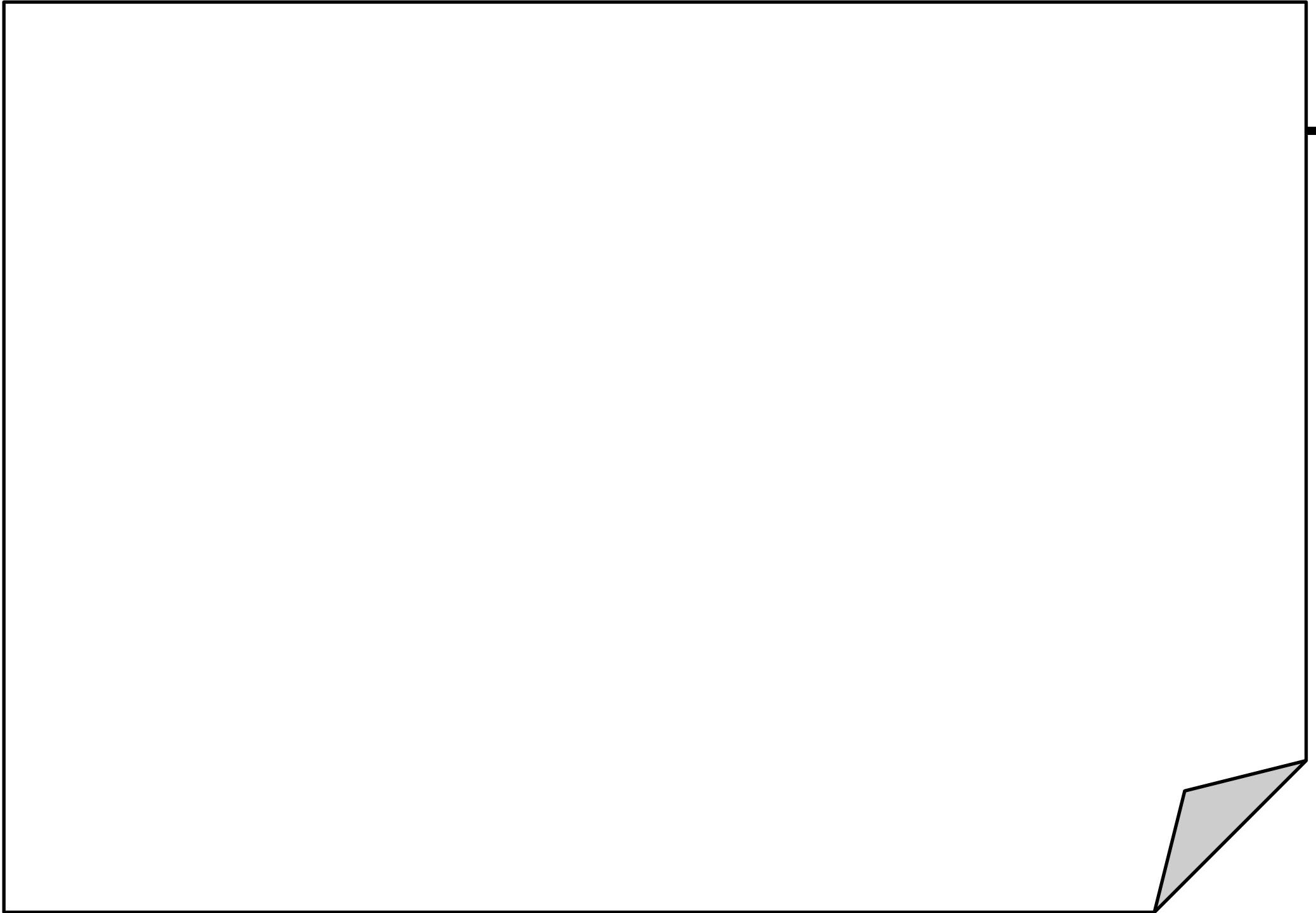
テーマ：

休日にしたい事

Work1

- 中心に○を書く。10本枝を引く。
- 発想のテーマを書き込む（テーマは_____）
- 2分、10本の枝に書けるだけ書く
（書いたら、枝を、即、伸ばす）
- 3分で、2、3段目を書けるだけ





次は、メンバーで、
マインドマップ
（～アイデアのパーツ）
を、広げる方法

Work4

今書いたマインドマップを、
左隣の人に回す。（4~6人で組を作ります）

手元に来たマップに自由に書き込む。
（書いたら、即、枝を広げる。）

「意図の誤解」があってもOK。

「説明不足」になることもOK。

とにかく時間内、書く。（1シート=2分）

戻ったら終了

手元に来たシートをご覧ください。
当初の広がり比べて
多様な観点が入りました。

これを元に更に広げる、と広い可能性を
紡ぎ出せます。

発想法は
自転車に似ている。

→ 一度乗れると、
いつでも乗れる。

(乗れたら教本は不要に)

どちらかが得意で、どちらかが苦手。

・・・という人は多いです。

(両方とも使いやすい人もいますが)

相性の良い方を使ってください。

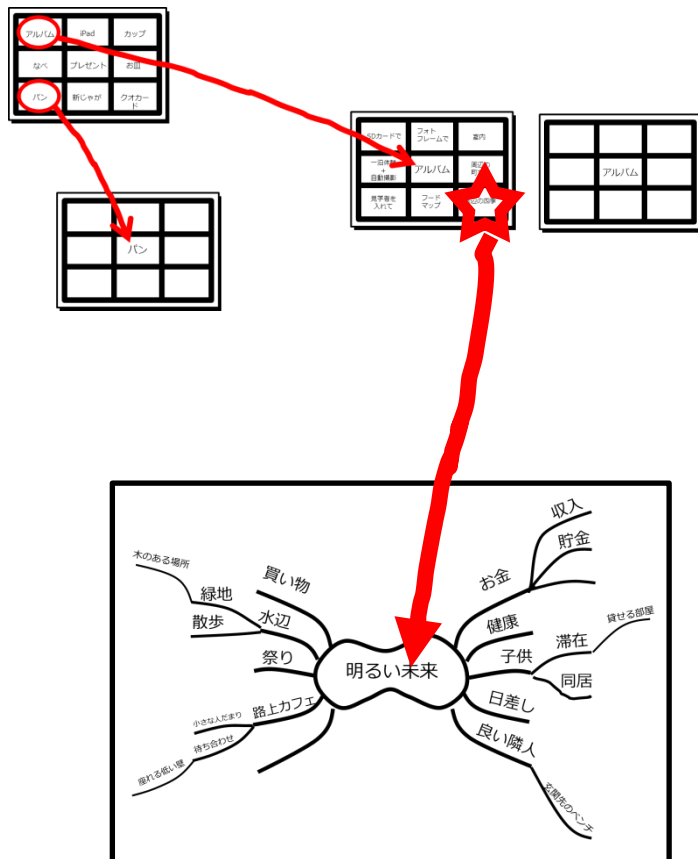
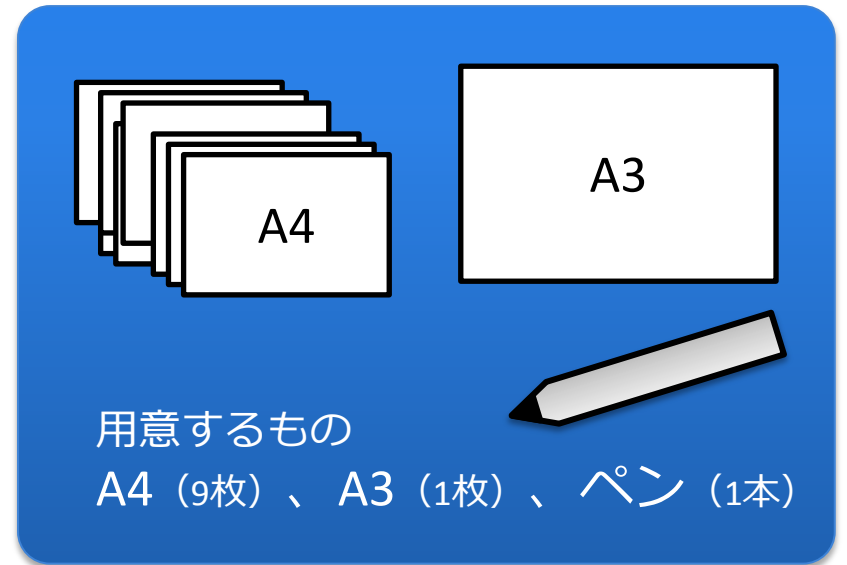
追記：

マインドマップは
思考の整理にもなります。

(今回は、アイデアのパーツを
掘り出すための方法でしたが)

追記：

2つを連続して
用いるのもよい



「沢山の言葉を引き出すのに
マンダラートを使い
↓
いいものが見つかったら
↓
マインドマップで深める」